

令和元年度 専門部会の活動について

部会名	相談支援事業評価部会
目的	質の高い相談体制を整備し、相談支援事業の充実・強化を図る
役割・内容	<ul style="list-style-type: none"> ・市相談支援事業の評価基準・評価方法の検討 ・事業者評価の実施
部会員	<p>自立支援協議会委員：飯塚委員、劉委員、池田委員、中村章次委員</p> <p>関係機関：静岡市身体障害者団体連合会、静岡市清水手をつなぐ育成会、静岡市静心会、清水障害者サポートセンターそら</p> <p>オブザーバー：各福祉事務所障害者支援課、地域リハビリテーション推進センター事務局：障害福祉企画課、精神保健福祉課</p>
活動予定	<p>1 令和元年度評価体制（案）について</p> <p>① 自己評価の実施 対象：障害者相談支援推進センター（1箇所）・委託相談支援事業所（10箇所）</p> <p>② 事業評価の実施（利用者アンケート、ヒアリング等） 対象：障害者相談支援推進センター（1箇所）</p> <p>2 各評価の評価項目や評価基準について 8月以降の評価部会等で決定する予定。</p> <p>3 今後の実施方法（案）</p> <p>① 自己評価：対象事業所（11箇所）について毎年度実施</p> <p>② 事業評価：対象事業所を4グループに分け、毎年度1グループについて実施 H28 第1グループ→H29 第2グループ→H30 第3グループ→R1 第4グループ (以降第1グループに戻り実施)</p>
今後の予定 方向性など	<p>8月 第1回部会の開催（事業評価実施方法の検討）</p> <p>9～10月 利用者アンケートの実施（2か月）</p> <p>11月 ヒアリングを実施</p> <p>12月 第2回部会の開催（総評シートの作成）</p> <p>2月 第2回障害者自立支援協議会において結果報告</p>

平成 30 年度及び令和元年度 専門部会の活動について

部会名	地域生活支援部会
目的	障がいのある人の地域生活を推進していく上での地域課題について、相談支援事業や障害福祉サービス事業所等で課題となっている事例等を通じて把握し、不足している仕組み・社会資源を満たすための方策を検討する。
役割・内容	<ul style="list-style-type: none"> ・障がい者等に係る地域生活課題の解決に関すること ・地域生活支援ネットワークの整備に関すること
令和元年度部会員	<p>自立支援協議会委員：檜垣委員（部会長）、遠藤委員、岡庭委員、渡邊委員</p> <p>関係機関：障害者相談支援センターわだつみ、静岡市支援センターなごやか、その他障害福祉サービス事業所、当事者団体</p> <p>事務局：地域生活支援ネットワークコーディネーター、静岡市障害者相談支援推進センター、障害福祉企画課、障害者支援推進課、精神保健福祉課</p>
平成 30 年度活動内容	<p>【ヘルパーサポートPT】</p> <p>ヘルパーの働きやすい環境、利用者の利用しやすい環境に整えるための手助けとなるガイドブックの企画・作成・発行を実施。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ヘルパー向けガイドブック 主な内容：各種サービス支援内容、障がい毎対応手引き、相談先一覧 ・利用者向けガイドブック 主な内容：各種サービス支援内容、フェイスシート、相談先一覧 <p>【強度行動障がい支援PT】</p> <p>「行動に課題のある人への支援」として、強度行動障がい者をサポートする施設の対応能力の向上を図るため行政と連携して「強度行動障がい者支援施設サポート事業」を実施。</p> <p>【地域生活支援部会】</p> <p>1 部会の承認 平成 30 年 7 月 25 日に開催された、平成 30 年度第 1 回自立支援協議会において、地域生活支援部会を地域生活支援ネットワーク会議の中核と位置づけ、旧地域生活支援拠点 P J で検討していた地域生活支援体制の整備について協議を継続することとした。</p> <p>2 地域生活支援ネットワーク会議の開催 第 1 回 平成 30 年 12 月 25 日 ・地域生活支援ネットワーク「まいむ・まいむ」の進捗状況について報告 第 2 回 平成 31 年 3 月 26 日 ・地域生活支援ネットワーク「まいむ・まいむ」の進捗状況について報告</p> <p>3 地域生活支援部会の開催 第 1 回 平成 31 年 2 月 27 日 ・地域生活支援ネットワーク“まいむまいむ”におけるサービス調整コーディネーター・相談調整コーディネーター業務の進捗状況について ・地域生活支援部会 強度行動障がい支援 PT・ヘルパー不足解消 PT の終結と今後の方向性について ・静岡市共生のまちづくり計画にある、「今後検討すべき課題」のうち当部会で協議すべき課題について</p>

	<p>・浜松市地域生活支援拠点との交流について</p>
<p>令和元年度 活動内容</p>	<p>1 地域生活支援部会（開催：年2回） ○令和元年度第1回（令和元年7月16日） 【協議内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ヘルパー向け・利用者向けのガイドブックの配布について。 ・強度行動障がい関係の研修については、「入所施設・通所施設サポート事業」の打合せメンバー等で検討し部会に報告。 ・移動支援ヘルパー養成研修「移動支援の利便性向上」については、旧ヘルパー不足解消PTのメンバー等で検討し部会に報告。 ・地域生活支援ネットワークの運営会議を定期的を開催する。 <p>（事務局提案：コアメンバー：部会長・サービス調整コーディネーター・相談調整コーディネーター、基幹相談支援センター・担当行政職員・協議内容によって部会員）</p> <p>2 地域生活支援ネットワーク会議の開催に向けての協議 ネットワーク会議の日程 第1回 令和元年9月24日 13:30～15:00 第2回 令和2年3月24日 13:30～15:00</p>

平成 30 年度及び令和元年度 専門部会の活動について

部会名	就労支援部会
目的	障がいのある方の就労に関する課題を共有し、改善策の検討及び実現に向けた取組みを行う
役割・内容	・障がい者等の就労に係る課題の共有及び解決に関すること。 ・障がい者等の就労に係る支援の連携に関すること。
部会員	自立支援協議会委員：中村文久委員（部会長）、池田委員、高橋委員、中村章次委員 関係機関：計画相談支援事業所、就労移行支援事業所、静岡障害者職業センター、静岡市 発達障害者支援センター、静岡市障害者相談支援推進センター、商業労政課 事務局：障害福祉企画課、精神保健福祉課
平成 30 年度 活動内容	○就労移行支援事業所マップの作成 ○「就フェス」の開催 （日時）平成 30 年 7 月 27 日（金）13:00～16:00 静岡市役所葵庁舎 17 階 171・172 会議室 ブース設置事業所数：12 事業所 来場者数：52 名（合計）※うち企業・教育関係者 29 名、一般 22 名、報道 1 名 ○就労定着支援の開始と円滑な実施に伴う調整会議 日時：平成 30 年 10 月 5 日（金）午後 2 時から午後 4 時 内容：新たな障害福祉サービスとして、平成 30 年 4 月から実施された「就労定着支援」の 開始に伴い、既存の他就労支援機関等との情報共有、その他調整を図る。 ○第 6 回ゆやけ相談会 日時：平成 30 年 11 月 8 日（木）午後 5 時から午後 8 時 会場：5 風来館 4 F
令和元年度 活動内容	○第 1 回就労支援部会の開催。 日時：令和元年 6 月 14 日（金）午前 10 時から午後 0 時まで 会場：葵消防署 6 階 審査会室 3 内容：・平成 31 年度部会長及び副会長の選任について ・「就フェス」の開催についての周知、昨年度の振り返りについて ・ゆやけ相談会について（開催期間、何を目標としていくか） ・就労移行支援事業所マップの維持・管理方法について ・障害者ワンストップ相談事業について ○「就フェス」の開催 日時：令和元年 8 月 8 日（木）午後 1 時から午後 4 時まで 内容：第 1 部 ●障害者就職支援セミナー ～就フェスを障害者採用に活かす～ ①講演「就フェス」を採用のきっかけに （講師：社会福祉法人 桂 カリタスみわ 採用担当者） ②静岡市自立支援協議会就労支援部会メンバーによるシンポジウム

第2部

- 就労移行支援事業所によるブース形式での説明会

○第7回ゆうやけ相談会の開催

日時：令和元年9月27日（金）

会場：5風来館4F

○第8回ゆうやけ相談会の開催（令和元年12月開催を予定。）

○第2回就労支援部会の開催（令和2年1月開催を予定。）

平成 30 年度及び令和元年度 専門部会の活動について

部会名	地域移行支援部会
目的	精神科病院に入院している方、または、障害者支援施設等に入所している方が、地域で生活するために必要となる支援体制の整備など、障がいのある方の地域移行の推進に係る課題や手法等を協議する。
役割・内容	<ul style="list-style-type: none"> ・障がい者の地域移行に係る取組の推進に関すること。 ・多様な居住の場の確保の推進に関すること。
部会員	<p>自立支援協議会委員：岡庭委員(部会長)、勝又委員</p> <p>関係機関：静岡県精神科病院協会、日本精神科看護協会静岡県支部、静岡県弁護士会、静岡県作業療法士会、静岡県精神保健福祉士協会、精神障がい者家族会、静岡市民生委員児童委員協議会、基幹相談支援センター、精神系相談支援事業所、ワーキンググループ長、当事者、こころの健康センター、精神保健福祉課</p> <p>事務局：精神保健福祉課、障害福祉企画課</p>
平成 30 年度 活動内容	<p>1 地域移行支援部会（開催：年 2 回）</p> <p>【協議内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第 5 期障害福祉計画について（精神障害に対応した地域包括ケアシステムの構築に向けて） ・退院支援専任相談員の取り組み状況と課題について ・静岡市精神障害者地域生活体験事業について <p>2 地域移行支援部会ワーキンググループ（開催：月 1 回）</p> <p>A グループ：医療と福祉の連携によるニューロングステイの防止</p> <ul style="list-style-type: none"> ・医療と福祉の横断的・重層的な支援体制の整備 <p>B グループ：安心できる暮らしを支える人材・ネットワークづくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・相談支援事業所に配置した退院支援専任相談員の活動報告を通して、事例の検証、地域課題の抽出、検討等を行う
令和元年度 活動内容	<p>1 地域移行支援部会（開催：年 2 回）</p> <p>○令和元年度第 1 回（令和元年 7 月 8 日）</p> <p>【協議内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・退院支援専任相談員の取り組み状況と課題について ・『安心できる暮らし』の実現と事業について ・『ピアサポーター』について <p>○令和元年度第 2 回（令和 2 年 1 月開催予定）</p> <p>【協議内容（予定）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第 1 回の協議を踏まえた、ワーキンググループにおける取組状況について <p>2 地域移行支援部会ワーキンググループ（開催：月 1 回）</p> <p><u>地域にある社会資源見学会の実施</u> 支援者が地域での生活をイメージするための見学会を予定している（年 3 か所程度）。</p> <p><u>地域移行に関する病院内研修会の開催</u> 当市の地域移行支援部会で取り組んでいる状況について説明し、患者が退院するにあたり病院職員と連携できる関係作りの場を設ける（年 2 回程度）。</p> <p><u>高齢分野との顔の見える関係づくり</u> 高齢分野の支援者と勉強会等を行い、顔の見える関係作りを行う（年 2 回程度）。</p>

住まいの体制作り

患者さんの退院先確保を考える上で、精神症状によって起きたトラブルの相談窓口等について体制作りをしていく。

ピア活動の体制作り

どうやって作っていくかの検討

その他、関係機関との意見交換会等へ参加する（普及啓発、相互理解等が目的）。

平成 30 年度及び令和元年度 専門部会の活動について

部会名	子ども部会
目的	障害福祉分野だけでは解決できない障害児の課題について、分野を超えて関係機関が集まって課題解決に向けて具体的な協議を実施する。
役割・内容	<ul style="list-style-type: none"> ・障がい児等に係る課題の共有及び解決に関すること。 ・障がい児等の支援の連携に関すること。
部会員	自立支援協議会委員：飯塚委員（部会長） 浅野委員、本杉委員、 関係機関：静岡大学、当事者団体、障害福祉サービス事業所、児童発達支援センター、発達障害者支援センター、児童相談所、特別支援教育センター 事務局：障害者相談支援推進センター、アグネス静岡、障害福祉企画課
平成 30 年度 活動内容	子ども部会（開催：年 2 回） 【協議内容】 <ul style="list-style-type: none"> ・関係機関の活動と課題について意見交換。 ・特別支援学校高等部の進路先の今年度調整経過について ・百花園児童発達支援センター「もも」の開設について ・各委員からの課題について（児童相談所との連携について）
令和元年度 活動内容	子ども部会（開催：年 3 回） ○令和元年度第 1 回（令和元年 7 月 8 日） 【協議内容】 <ol style="list-style-type: none"> ① 3 区別セルフプラン率について <ul style="list-style-type: none"> ・葵区：34.9% 駿河区：25.8% 清水区：16.9% ・セルフプランが多い要因は、単純に事業所が少ないためではなく保護者が計画相談の利用に消極的なことも考えられる。 ・計画相談を利用するメリットは、保護者の不安感や負担が軽減されること、幼少期～成人期に切れ目のない支援体制を整えることができることである。 → 障害別、年齢別の詳細なデータを抽出し、セルフプランが多い要因について検証をすすめ、計画相談の利用にむすびつく支援方法を検討する。 ② 事業所あてアンケート調査の内容について（運営上の困りごと、他機関との連携の困りごと等） <ul style="list-style-type: none"> ・部会員あてに試験的にアンケートを行い、内容を決定する ・事業所あてアンケート調査の実施 ・7月下旬～8月上旬に配布予定 ○令和元年度第 2 回（令和元年 9 月開催予定） 【協議内容（予定）】 <ul style="list-style-type: none"> ・アンケートの分析と課題抽出 → 令和 2 年度に向け、課題解決の方法を検討する

平成 30 年度及び令和元年度 専門部会の活動について

部会名	権利擁護・虐待防止部会
目的	障がいのある人の権利擁護・虐待防止を図るため、関係機関と連携した対応を協議する。
役割・内容	<ul style="list-style-type: none"> ・障がい者等の権利擁護・虐待防止に係る普及啓発に関すること。 ・障がい者等の虐待事例の情報共有及び事例検証に関すること。 ・障がい者虐待の早期発見、再発防止策の検討に関すること。
令和元年度部会員	自立支援協議会委員：原田委員（部会長）、劉委員、渡邊委員、中村文久委員 関係機関：わらしな学園、社会福祉士会、静岡県精神保健福祉士協会、静岡県弁護士会
平成 30 年度活動概要	<p>【部会】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・虐待防止マニュアルの確認作業 ・施設従事者虐待対応について検討 ⇒虐待予防策の重要性について確認（計画相談事業所が目標どおりのサービスが提供されているか事業所に確認する、実地指導の際にクライアント情報共有・対応体制が整っているか確認する、等） <p>【虐待事例検証会議】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・親族による経済的虐待に係る成年後見制度の活用 ・父親からの虐待と分離
令和元年度活動概要	<p>第 1 回部会 令和元年 7 月 22 日（月）午前 9 時 30 分～</p> <p>平成 30 年度部会で取り上げられた課題等について、今年度取り組む課題を整理し、対応方法の検討を行った。また、より意見交換を活発化させるため、今年度より静岡県弁護士会、静岡県精神保健福祉士協会、「障害者虐待防止法に基づく一時保護の実施に関する協定書」を締結している施設に部会への出席を依頼した。</p> <p>①平成 30 年度虐待相談件数等の報告 施設従事者虐待の虐待認定の困難さ、施設での苦情解決の仕組みの徹底等について</p> <p>②「静岡市障がい者虐待防止マニュアル」の見直し ・虐待通報後の対応、コアメンバー会議の開催について ⇒緊急性の判断をどのように行うか、1 回目のコアメンバー会議で最低限どこまで行うべきか今後詳しく検討する。 ・虐待終結後の見守りを誰がどのように行うか ⇒計画相談事業所、虐待防止センター（基幹・委託）、各区障害者支援課の終結後の役割分担について協議。今後、虐待防止センターの役割について整理した上で、虐待防止センターが集まり共通認識を醸成する必要がある。</p> <p>③虐待ケースの長期化の要因 ・ケースの進捗管理の徹底、長期継続ケースの検証の必要性を確認。</p> <p>④関係機関への虐待通報先の周知 虐待通報先を知らないサービス事業所、関係機関職員が少ない。 ⇒市内事業所・関係機関において情報共有、周知、普及・啓発を行う</p> <p>第 2 回部会 令和元年 10 月 28 日 午後 2 時～ 予定</p> <p>以下の課題及び第 1 回部会で結論が出なかった課題について協議を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・虐待分離先となる施設の空床確保について <p>虐待事例検証会議 令和元年 12 月開催予定</p> <p>終結した虐待事例について、弁護士、社会福祉士等の専門家による事後評価を行う。</p>